

# 大磯町の財務諸表

町の財務分析の方法として、平成17年度決算に基づき町の財政状況を明らかにするために、企業会計的な考え方を取り入れた「バランスシート」「行政コスト計算書」「資金収支計算書」を作成しましたのでお知らせします。

## ◆バランスシート

◎町民一人あたりの資産は108万円、負債は31万円

バランスシートとは、町の施設(財産)や現金・債権などが年度末でのくらいあるのかを一覧表にしたもので、過去からの

財政運営の結果として蓄積された資産状況や、その調達財源を総合的に表しており、次の3つの内容から構成されています。

## 大磯町のバランスシート (普通会計)

(平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

借 方		貸 方	
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
1. 有形固定資産	32,233	1. 固定負債	9,531
(うち土地)	13,254	・地方債	
・庁舎、福祉施設、公園施設、美化センター、学校施設等		(翌年度償還予定分を除く)、退職給与引当金等	
2. 投資等	2,101	2. 流動負債	717
・投資及び出資金、貸付金、特定目的基金等		・地方債	
3. 流動資産	1,066	(翌年度償還予定額)等	
・現金、預金(財政調整基金等)、未収金等		負債合計	10,248
資産合計	35,400	<b>【正味資産の部】</b>	
		1. 国県支出金	4,809
		2. 一般財源等	20,343
		正味資産合計	25,152
		負債・正味資産合計	35,400

### ■資産

資産とは、町が所有している財産の内容と金額を示しており、「有形固定資産」「投資等」「流動資産」に分けられています。「有形固定資産」は町の施設などかのように整備されてきたかを表しています。「投資等」「流動資産」は、町の現金、積立金、債権などが現在いくらあるかを表しています。

資産合計は354億円となっています。

### ■負債

負債は、「固定負債」と「流動負債」からなります。主に町の借金である「地方債」がこれにあたり、公共施設を建設するために町が借りた金額がいくら残っているかが分かります。

これらは借入金なので、住宅ローンと同じように、これから分割で返済をしていかなければなりません。

負債合計は102億4,800万円となっています。

### ■正味資産

正味資産からは、資産(公共施設など)を取得するために使ってきた国・県からの補助金、町税などの資金の内容が分かります。

これらの資産、負債などの状況を町民一人あたりに平均すると、資産額は108万円、これに対して負債額は31万円となっています。

バランスシートは、支出の結果としての資産状況は分かりま

## ◆行政コスト計算書

◎町の行政サービスコストは、総額75億4,700万円

地方公共団体の行政活動は、人的サービスや給付サービスなど、資産形成につながらない行政サービスが大きな比重を占めています。

そのため、町が福祉や教育などの行政サービスをしていくうえで、そのコスト(費用)がいくら掛かっているかを整理したものが「行政コスト計算書」です。

すが、資産以外に町の支出がどのように使われたか、全体の内容が分かりません。

このため町では、町全体の行政サービスのコストや資金繰りの内容などが分かる「行政コスト計算書」と「資金収支計算書」を作成しています。

町の1年間の総コストは75億4,700万円、町民一人あたり23万円となっています。またコストに対する収入総額は69億円で、町民一人あたり21万円となっています。

また、差引一般財源等増減額は、行政サービスの提供のために徴収された町民税などの総収入と行政コストなどの差額で、

## 大磯町行政コスト計算書 (普通会計)

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位:百万円)

<b>費用(コスト)の部</b>	
人件費など人にかかるコスト	2,323
物件費や維持補修費など物にかかるコスト	2,843
扶助費などの給付費コスト	2,191
町債利子などの財務費コスト	190
費用(コスト)合計 (A)	7,547
<b>収入の部</b>	
使用料・手数料などの特定財源	325
国庫・県支出金	597
一般財源	5,978
収入合計 (B)	6,900
正味資産国庫(県)支出金償却額 (C)	226
差引一般財源等増加額 (B-A+C)	△421